

コースコード：RH-RH319

税抜価格：365,000円

日数：5日間

前提条件

・Red Hat 認定システム管理者 (RHCSA) 認定を取得している、または同等の Linux 使用経験がある IT プロフェッショナル・Microsoft Windows オペレーティングシステムのシステム管理の経験があれば役立ちますが、必須条件ではありません

受講対象者

- ・エンタープライズシステムでのサーバー管理に責任を持つ Linux システムの管理者で、Red Hat Enterprise Virtualization を使用した、大規模なサーバーまたは仮想マシンの管理方法の学習に興味をお持ちの方
- ・Red Hat 認定仮想化技術管理者 (RHCV A) の認定資格取得に挑戦する方

コース概要

このコースでは、経験を積んだシステム管理者を対象に Red Hat Enterprise Virtualization スイートで管理する Red Hat Enterprise Linux の仮想化機能の使い方を説明します。

演習とテクノロジーの詳細な解説によるこのトレーニングコースは、仮想化のデプロイメント戦略を計画または実施する組織にとって、完璧な最初のステップとなります。

コースの最終日には、RHCV A 認定試験 (EX318) が含まれています。

目的

専用の Red Hat Enterprise Virtualization Hypervisor ノードまたは Red Hat Enterprise Virtualization Manager を使用する Red Hat Enterprise Linux サーバーでホストされる、Linux および Microsoft Windows の仮想マシンについて、効果的な作成、デプロイ、管理、移行のスキルと知識を獲得する。

アウトライン



1.Red Hat Enterprise Virtualization の概要

一般的な仮想化、KVM の概念、および Red Hat Enterprise Virtualization プラットフォームの理解

2.Red Hat Enterprise Virtualization Manager

Red Hat Enterprise Virtualization Manager のインストール、テスト、削除、およびトラブルシューティング

3.Red Hat Enterprise Virtualization Hypervisor

Red Hat Enterprise Virtualization Hypervisor のインストール、設定、アップグレード、およびトラブルシューティング

4.Red Hat Enterprise Virtualization の環境設定

データセンター、クラスタ、ストレージドメイン、および論理ネットワークを作成および設定

5.Red Hat Enterprise Virtualization for Servers

仮想サーバーとイメージのインストール、基本的な管理の実行、およびトラブルシューティング

6.Red Hat Enterprise Virtualization for Desktops

仮想デスクトップのインストール、および準仮想化ドライバーの設定

7.仮想マシンのテンプレート

テンプレートイメージを使用した、Microsoft Windows および Red Hat Enterprise LinuxR 仮想マシンの作成

8.プールとユーザー

マルチレベル管理者権限による、プールの使用およびユーザーポータルへのデプロイ

9.監視およびレポート作成

Red Hat Enterprise Virtualization の監視、およびカスタムレポートの作成

10.高度な Red Hat Enterprise Virtualization

CLI および API インターフェースを利用した、Red Hat Enterprise Virtualization のバックアップと復元

11.Red Hat Enterprise Linux ホスト

Red Hat Network による仮想マシンの管理

12.移行と高可用性 (HA)

仮想マシンを移行、および高可用性 (HA) の実現

13.学習内容の包括的な確認

コースで学習した実習の内容を確認